

第66回 全日本実業団対抗 陸上競技選手権大会

会場 ヤンマースタジアム長居 〒546-0034 大阪府大阪市東住吉区長居公園 1-1

2018 **9.21-9.23**
FRI SUN

秋の気配を感じながらスタートした全日本実業団対抗陸上競技選手権大会。長期にわたる合宿を終えた選手たちは、その成果を発揮してくれました。

FRI
9.21

種目
ジュニア
3000m



佐々木 瑠衣

ジュニア 3000m 8位
9分29秒39



佐々木 芽衣

ジュニア 3000m 19位
9分39秒02



新名 風花

ジュニア 3000m 39位
10分19秒07

種目

10000m

目標達成に向けた強い思いが伝わるレースでした



鈴木 千晴

10000m 25位
33分53秒59



伊坂 菜生

10000m 30位
34分20秒46



メリー シプロ マネラ  自己新 5000m 9位
15分44秒58



小井戸 涼 5000m 25位
16分14秒01

9.23 SUN

種目
5000m

佐々木 瑠衣 選手

最近の中では自分自身納得のいくレースができたと思っていますが、一方でまだまだ課題の残るレースだとも思っています。これからしっかり練習を積んで記録を出していきます。応援よろしくをお願いします。

佐々木 芽衣 選手

結果としては自分の課題である「後半の粘り」が今日も課題となってしまいました。また、気持ちの面でも課題が残るレースだったと振り返っています。これからはしっかりと自信につながるような走りができるようにしていきます。

新名 風花 選手

今日は大阪まで応援に来てくださってありがとうございました。結果としてはまだまだでしたが、皆さんに応援していただけるようにこれからしっかりがんばります。

鈴木 千晴 選手

自分は 8 月下旬に故障をしてしまったのですが、そんな中で目的を持っていい感覚をつかむという走りをしました。結果としてはまだまだで、ここから上げていきますが、今日は自分の走りをする事ができました。

伊坂 菜生 選手

わたし自身、今回のレースは苦しい夏合宿を経て、自信を持ってスタートラインに立つことができました。レースでは、あと一步の粘りというところで自分の弱さが出てしまいましたが、その弱いところをもう一度見直してしっかり練習を積んでいきます。

メリー シブコ マネラ 選手

最初ペースが速かったが、ベストを更新できた。目標に向けてがんばります。練習がんばります。

小井戸 涼 選手

今日走って自分の今の課題とレベルが分かりました。これを次につなげて更に調子を上げていきたいです。



今日の大会は、選手の実力から見るともう少しかなというところで課題も多くあった試合でした。その中でも粘りのある走りのできた選手もいました。メリー選手はベストを更新できたこともあり、日々の練習で力がついてきているのを感じました。小井戸選手は久しぶりの 5000m レースだったので、レースの感覚を戻すのが課題でした。今日を活かして、練習を積んでいけばさらに記録は伸びます。夏合宿で追い込んできたこともあり、その疲れが抜け切れる前のレースだったかなとも思いますが、個人個人の課題は見えたので、またひとつ磨き上げて次のレースで良い結果が出せるようにつないでいきます。昨年はこの大会に 5 名しか出ていません。今年は選手 12 名中 11 名がこの時期にある日体大も含めてレースに出場しています。レース、試合に出るということは、彼女たち自身は間違いなく成長しています。このあとも課題を明確にしてまた乗り越えていけば必ずと自己ベストに近いタイムで走ることができると確信しています。応援ありがとうございました。



北村聡 監督代行